

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年12月26日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3号機	消火系屋内消火栓設備原子炉建屋2階南西側通路屋内消火栓(R-33)元弁において、シート部に漏えい(非放射性水)が認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、当該弁の下流側に新たな弁を設置し漏えいは停止。消火機能に影響はない。	GⅢ	12月24日
2	3・4号廃棄物処理設備	消防署の立入検査において、雑固体廃棄物焼却設備軽油・廃油タンク室内のゴミ等により貯留設備へ支障を来すことのないよう清掃・維持管理が必要である旨の指摘を受領。当該タンク室内の清掃を実施。	GⅢ	12月20日
3	その他	消防署の立入検査において、免震重要棟発電機室(屋外)の標識・掲示板が錆による劣化のため視認性が低く交換が必要である旨の指摘を受領。当該標識・掲示板を交換。	GⅢ	12月20日
4	その他	消防署の立入検査において、危険物屋内貯蔵所内貯留設備の上部に危険物ドラム缶が設置されているため、配置換えが必要である旨の指摘を受領。当該ドラム缶の移動・固縛を実施。	GⅢ	12月20日